

平成25年度 陸前高田文化遺産調査 報告概要

1. 目的

2011年3月11日の東日本大震災及び大津波により、陸前高田市は大きな被害を受けた。市民の約1割にあたる人命が失われたほか、市庁舎を始め、博物館や図書館、文化ホール等の市の重要施設が被災した。多くのものを失ってしまった。しかし、幸いにも高台にあった寺の仏像は被災をまぬがれた。この仏像等の文化遺産を調査し、その価値を明確にすることが、陸前高田市の市民を元気づけることになると考え、被災地支援の一環として本調査団を派遣する。また、併せて被災地の状況を視察し、被災された方から聞き取りを行い、現地での防災教育・ESDとして実施する。

2. 実施月日

平成25年8月26日（月）～ 29日（木） 3泊4日

3. 派遣先 陸前高田市 常膳寺 小友小中学校、高田松原
住田町 浄福寺
石巻市持福院観音堂、慶長遣欧使節ミュージアム 他

4. 活動内容

- (1) 浄福寺での文化遺産調査
常膳寺十一面観音との関連、伊達氏の関わり
- (2) 常膳寺での講演会
昨年度の文化遺産調査の報告会
- (3) 文化遺産を通したESD教材の作成
慶長遣欧使節（支倉常長関連）、遣欧400年記念事業
- (4) 防災教育
高田松原を守る会、被災地

5. 参加者

- 教員 : 山岸公基、中澤静男、
大学院生 : 千々石喜一（M1・美術教育）、木谷智史（M1・美術教育）
教職大学院生 : 土海稚奈（M2）、英優美（M2）
学部生 : 横井まどか（3回生・文化財造形）、二階堂泰樹（3回生・社会科教育）

6. 日程

- 26日（月）仙台空港からレンタカーで石巻市へ移動し、石巻市持福院観音堂、慶長遣欧使節ミュージアムを見学後、浜通りを北上しながら被災状況・復興状況を車内から視察する。
- 27日（火）午前：陸前高田市教育委員会訪問、泉増寺拝観、市内を視察
午後：仮設住宅訪問と常膳寺拝観
夕方から常膳寺文化財についての講演会（山岸先生）
陸前高田市立小友小学校訪問

- 28日（水）：午前：住田町浄福寺文化遺産調査、高田松原を守る会について聞き取り調査
 午後：調査継続と陸前高田市視察、高田松原見学、
 29日（木）：午前：天平産金遺跡（大仏鍍金）見学

7. 文化遺産調査



- ① 住田町、浄福寺向堂観音堂十一面観音菩薩坐像調査において、台座裏面から、「伊達綱村」の墨書を発見する。



- ② 陸前高田市泉増寺の仏像は、金庫に納められ、その鍵が津波で流されたため拝観できなかったが、伊達綱村の発願によるものと伝えられている。



- ③ 昨年調査した常膳寺の阿弥陀如来坐像にも伊達綱村の墨書があった。

以上のことから、江戸時代の気仙郡と伊達綱村には何らかの関わりがあったと思われる。今回の生徒用教材は、これをテーマとしたものとなると思われる。

8. 防災教育

- ① 仮設住宅訪問



② 高田松原に関する聞き取り調査



高田松原の歴史について



高田松原を守る会の活動について

③ 現地見学

